平成28年春の全国交通安全運動をきっかけに、次のことを取り組んでいきましょう。

◆ 一人ひとりが交通事故を防止するための意識を持ちましょう。
◆ 地域の交通事故防止のため、保護誘導活動や家庭訪問、声かけ活動等交通ボランティア活動を推進しましょう。
◆ 運転免許証を自主返納した高齢者の日常生活を確保するため、地域ぐるみで助けあいましょう。

自転車の安全利用の推進（特に、自転車安全利用五則の周知徹底）

●「自転車安全利用五則」を遵守しましょう。
●幼児・児童は勿論、日常的に自転車を利用する通勤・通学者へのヘルメットの着用を促進しましょう。
●被害者救済のためにも、自転車賠償責任保険等に加入しましょう。

後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

●幼児の体格にあったチャイルドシートを正しく使用しましょう。
●高速乗合バスや貸切バスに乗る時も、シートベルトを着用しましょう。

飲酒運転の根絶

●「ハンドルキーパー運動」の普及に努めましょう。
●飲酒運転の根絶に向けた地域、職場、家庭等における飲酒運転を絶対に許さない環境づくりを促進しましょう。

歩行者の安全な通行の徹底

●「歩きスマホ」等注意力が散漫になる行為はやめましょう。
●自宅周辺だから、通り慣れた道だからと安心しないで交通ルールを守りましょう。
●歩行者も車や自転車の運転者に迷惑をかけるような行動は慎み、自分の命は自分で守る行動をとりましょう。
●夜間の外出時には反射材用品を活用する等、運転者から目立つ工夫をしましょう。

二輪の事故防止

●長時間のツーリング等では、ゆとりを持った計画を立て、適宜休憩をとって安全走行を心がけましょう。
●ヘルメット、胸部プロテクターの正しい着用に努めましょう。